

NPO 法人 TECUM へのお誘い

1 研究と実践の橋渡し

数学教育は、学理としての数学と実践としての教育、それぞれの容易には調和しない理想の共存を目指すべき世界です。学理への憧憬を欠いた数学教育は、多くの教育現場で証明されているように、学理的に興味のない、いわば死んだ数学的知識の、訓練による定着に堕してしまう危険が現実であり、他方、教育実践の難しさと思議さへの関心を欠いた現代数学の教育は、狭い専門の先端的研究成果だけに満足して、数学者として一人前の教養と専門家としての学識の深みを育むことに成功していないように思います。その何よりも明白な証拠に、「論文」に捧げたはずの努力の成果が教員としての授業実践に深い影響を残しているとは見えないことがあげられるでしょう。

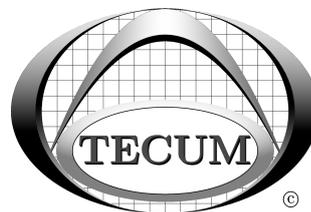
2 TECUM は

《研究》と《教育》という容易には調和しない両極の共存は、大学における死活的な重要性をもつ問題ですが、それは、日々の血の滲むような《研究》なくしては、学生に対して生き生きとした《教育》を施すことができずマンネリズムに墮す危険があり《教育》なくしては、自分の《研究》の歴史的な意味を反省する機会を失い自己目的化した形ばかりの「研究」に墮落する危険があるからです。

しかし《研究》と《教育》の共存の重要性は、大学に限ることではありません。初歩的な数学を何年も同じように教える義務を負う学校数学の教員にも、日々新しい知見の獲得の努力と喜びが保証されるべきであると私達は考えます。

こうして作ったのが、NPO 法人 TECUM です。2018年度に東京都から認証を受けて以来、活動を少しずつ拡大して来ていますが、一般会員、賛助会員とも東京首都圏の人が主で、全国展開にはまだ時間がかかる見込みですが、それを視野において頑張っています。

このロゴは学理（数学的真理 = ログス）と実践（数学教育の哲学 = プラクシス）の2焦点の緊張ある調和を縦横に広がる平行線に象徴される組織化されない人々の関係を組織化する2次曲線で表現したものです。



3 詳しくは

事務局への email tecumoffice@flexcool.net (AT を標準記法に変更してください) によるお問い合わせ、あるいは Web site <https://www.tecum.world/> を御参照ください。